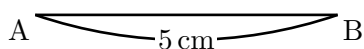


辺の長さや角の大きさを表示しましょう。



```

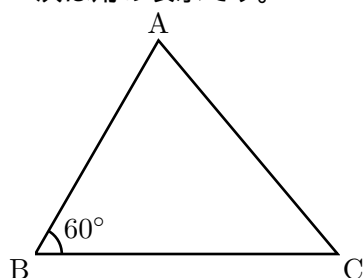
\begin{pszahyou*}[ul=8mm](0,5)(-1,1)
\tenretu{A(0,0)sw;B(5,0)se}
\Drawline{A#B}
\HenKo<henkoH=2ex>#A#B{5#,cm}
\end{pszahyou*}

```

気をつけるというか、ポイントは辺の長さを表示したいとき、表示させたい方向から線分を見たとき、左の端点から書きます。`\HenKo<henkoH=2ex>#B#A{5#,cm}` と `#A,#B` が逆だと上側に 5 cm が表示されます。

詳しくは、[emath Wiki](#) をご参照ください。

次は角の表示です。



```

\begin{pszahyou*}[ul=8mm](0,5)(-1,4)
\tenretu{B(0,0)sw;C(5,0)se}
\kandk#B{60}#C{-50}
\Put#A[n]{A}
\Takakkei{#A#B#C}
\Kakukigou<1>#C#B#A(10pt,5pt){60$#Deg$}...①
\end{pszahyou*}

```

①の `\Kakukigou<1>#C#B#A(10pt,5pt){60$#Deg$}` で所定の $\angle CBA$ に 60° のラベルを貼り付けます。ラベルを表示させる角は時計回りに C B A の順で包み込みます。これを A B C としても表示されますが、 60° ではなく、 300° のほうに角の記号が付いてしまいます。ピンと来ないかもしれませんが、一度失敗してみると分かりますよ。<1>は角の記号は 1 本線で書くという意味で、二本線にしたければ <2> とすれば大丈夫です。(10pt,5pt) は 60° の表示位置の細かな設定です。また、作例 2 でソースコードにも登場していますが、n, s, w, e nw, ne, sw, se を使ってもうまくラベルが表示されない時は、この `\Kakukigou<0>` を使って、ラベルを微調整して表示させることができます。

詳しくは、[emath Wiki](#) をご参照ください。